

【決算発表時プレゼンテーション資料】



2021年度 決算のお知らせ

ソニー生命保険株式会社
2022年5月24日

AGENDA

決算のポイント	P. 3
経常収益・経常利益	P. 4
新契約高・新契約件数・新契約年換算保険料	P. 5
保有契約高・保有契約件数・保有契約年換算保険料	P. 6
解約・失効率	P. 7
保険料等収入	P. 8
基礎利益	P. 9
新型コロナウイルス感染症への対応について	P. 10
2021年度のトピックス	P. 11

決算のポイント

◆ 保険料等収入：

一時払保険料の増加に加え、ソニーライフ・ウィズ生命の吸収合併にともなう再保険契約の解約で生じた解約返戻金受取により再保険収入が増加したことなどにより、前年度比13.6%増加の1兆3,773億円。

◆ 基礎利益：

新型コロナウイルス対策関連費用の減少や保有契約高の積み上がりによる利益の増加があったものの、変額保険等の最低保証に係る責任準備金繰入額が増加したことなどにより、前年度比3.2%減少の1,322億円。

◆ 新契約高・新契約年換算保険料：

新契約高および新契約年換算保険料ともに、過去最高を記録。

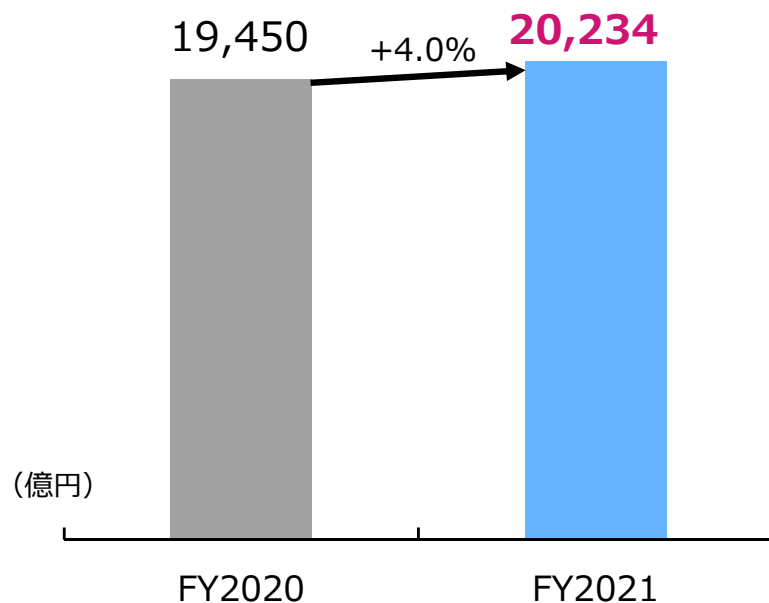
緊急事態宣言の発令にともなう営業活動自粛の影響を受けた前年度比で、

新契約高は29.8%増加の6兆6,552億円、新契約年換算保険料は41.4%増加の1,054億円。

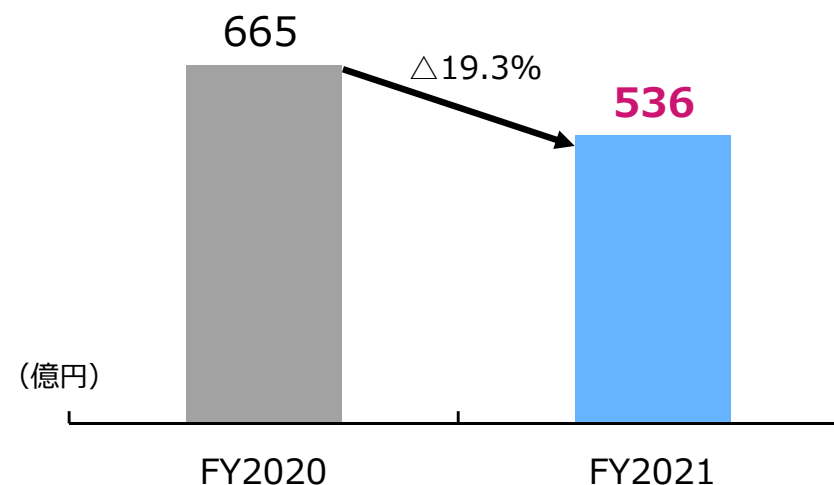
経常収益・経常利益

- ◆ 経常収益：特別勘定における運用益が減少したものの、一時払保険料の増加などにともなう保険料等収入の増加や為替差益の増加などにより、前年度比4.0%増加の2兆234億円。
- ◆ 経常利益：有価証券売却益の増加や新型コロナウイルス対策関連費用の減少、保有契約高の積み上がりによる利益の増加などがあったものの、危険準備金328億円の積立をFY21.1Qに一括で行ったことにより、前年度比19.3%減少の536億円。

経常収益



経常利益

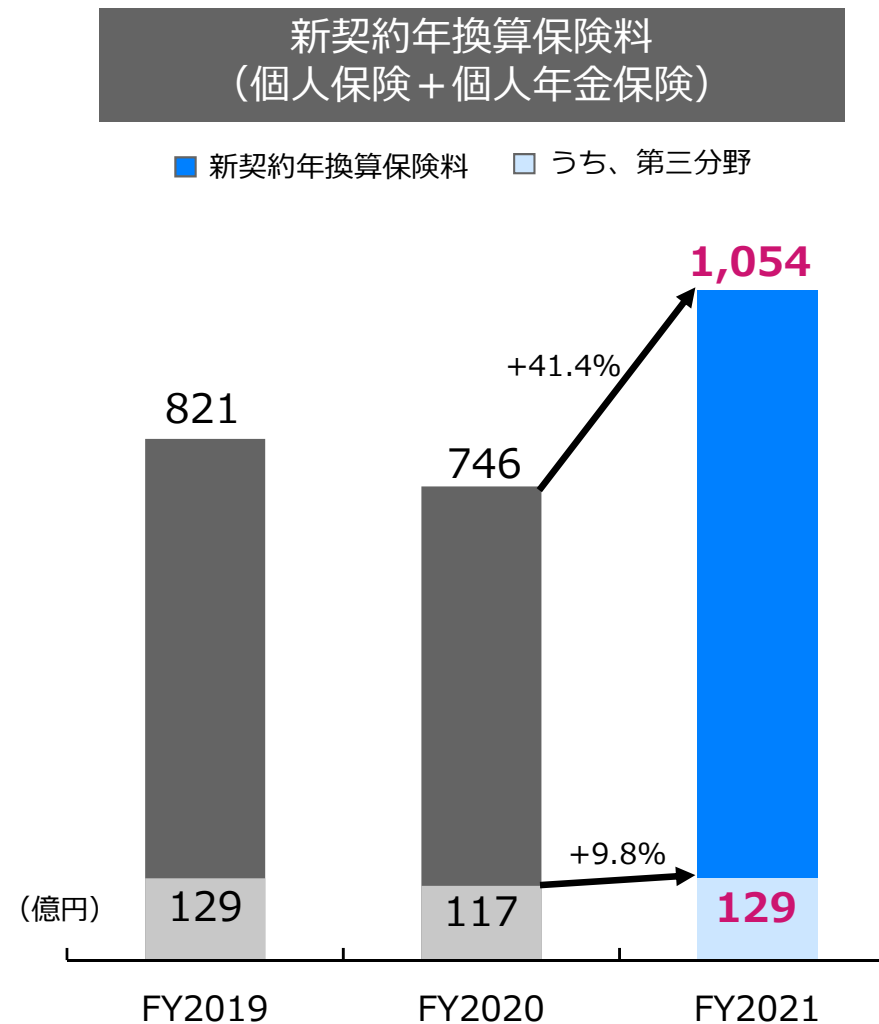
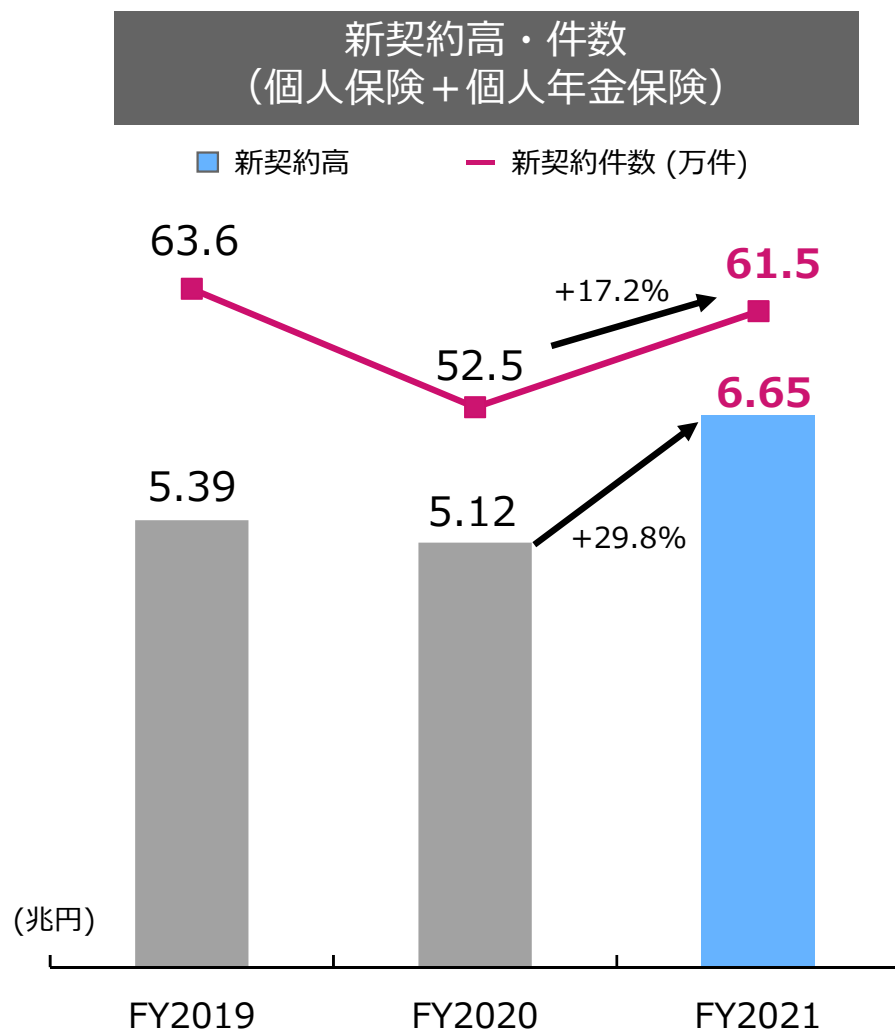


新契約高・新契約件数・新契約年換算保険料

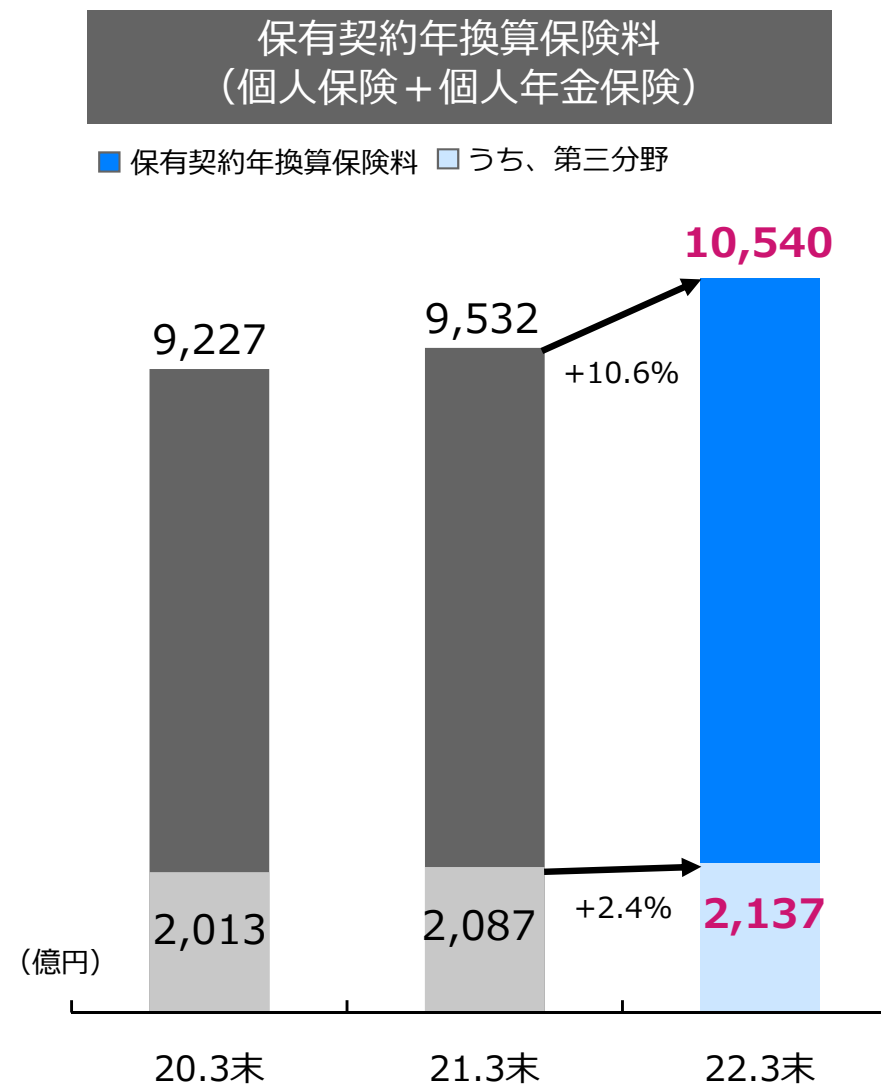
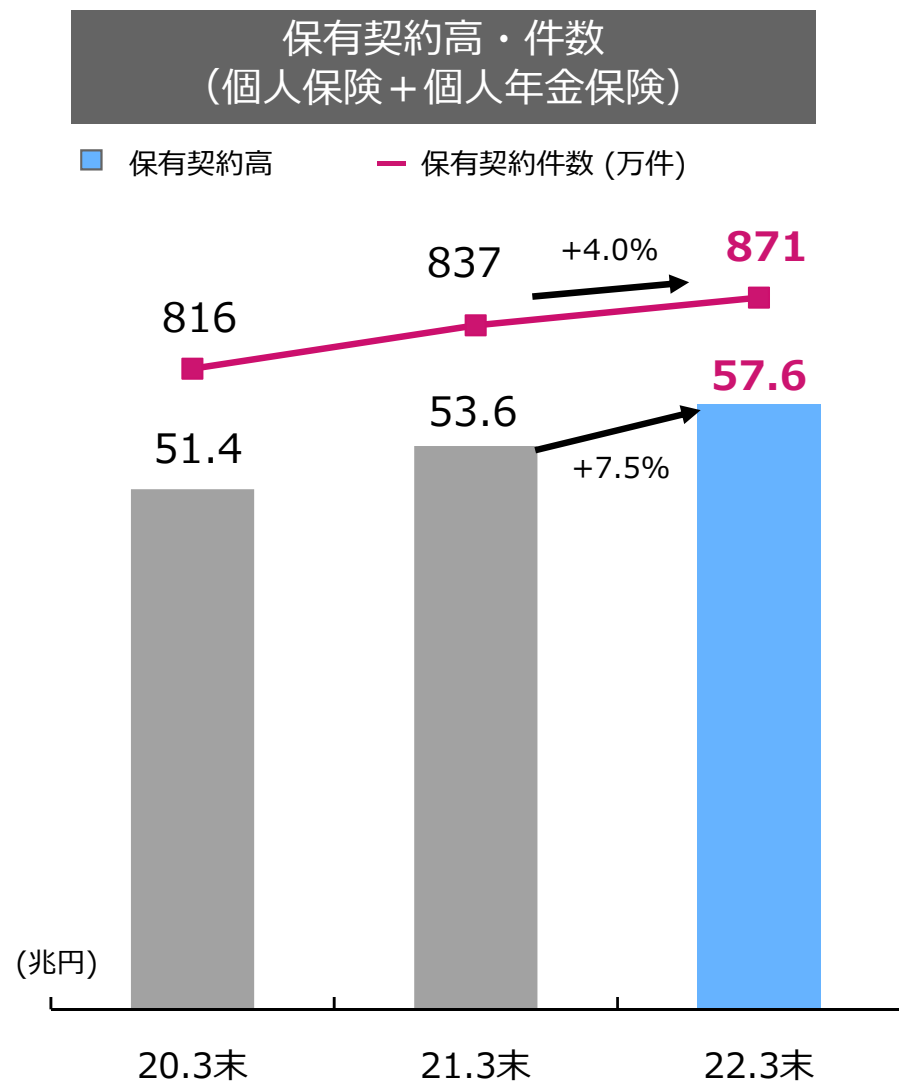
◆ 新契約高および新契約年換算保険料：過去最高を記録。

緊急事態宣言の発令にともなう営業活動自粛の影響を受けた前年度比で、

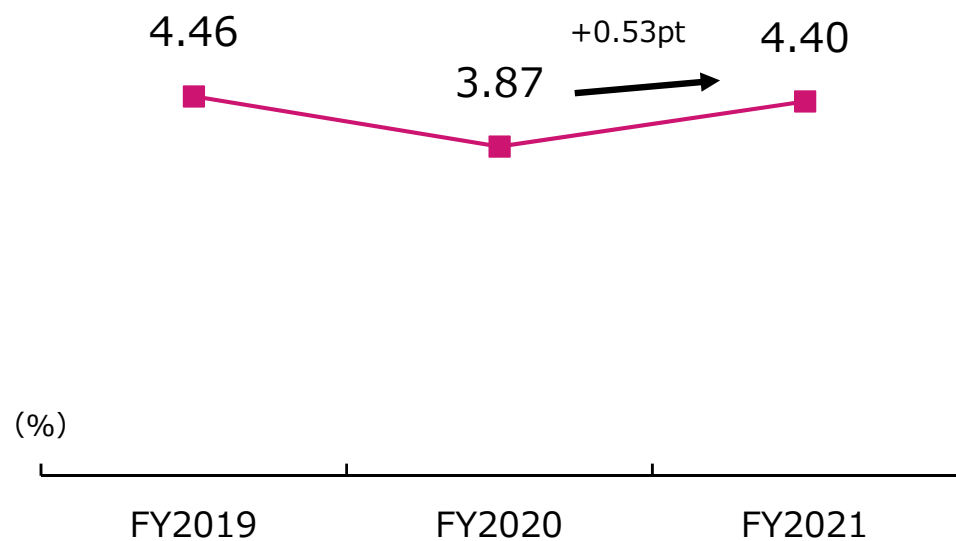
新契約高は29.8%増加の6兆6,552億円、新契約年換算保険料は41.4%増加の1,054億円。



保有契約高・保有契約件数・保有契約年換算保険料



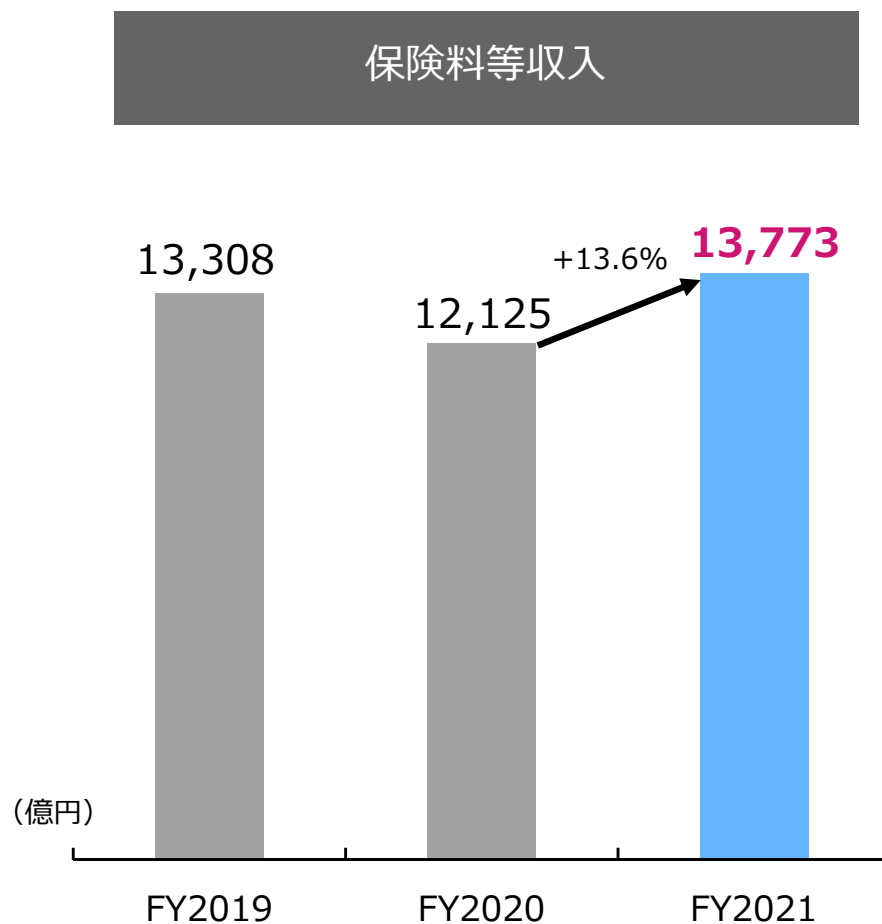
解約・失効率* (個人保険+個人年金保険)



* 解約・失効率は、契約高の減額または増額および復活を含めない解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率。

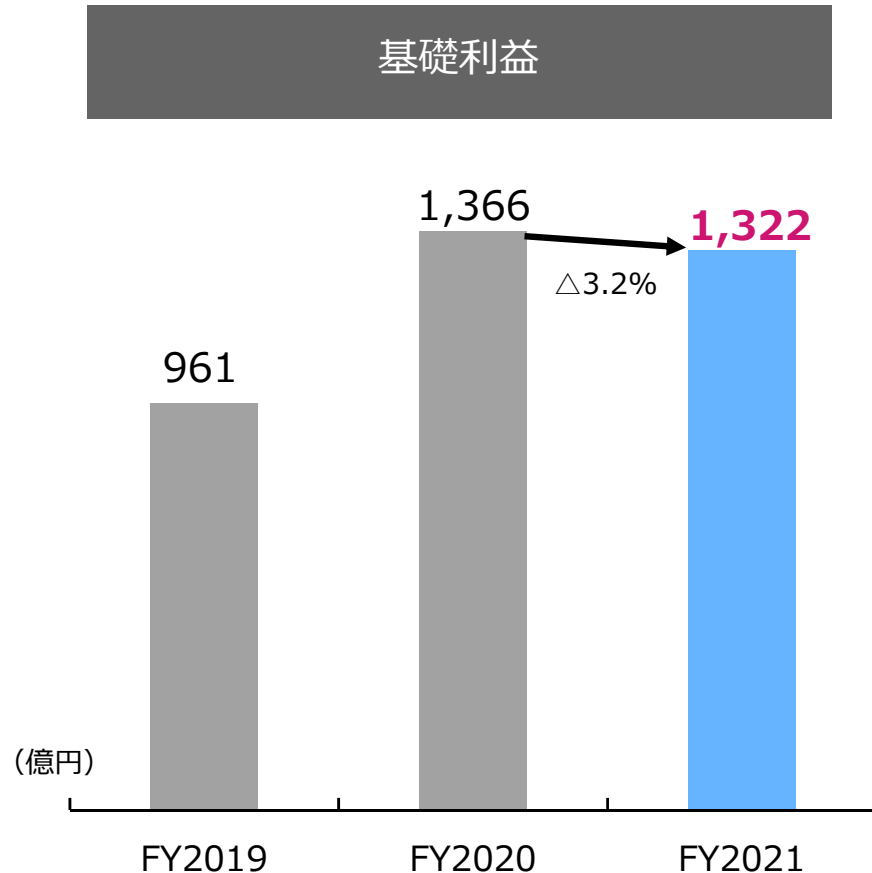
保険料等収入

- ◆ 保険料等収入：一時払保険料の増加に加え、ソニーライフ・ウィズ生命の吸収合併にともなう再保険契約の解約で生じた解約返戻金受取により再保険収入が増加したことなどにより、前年度比13.6%増加の1兆3,773億円。



基礎利益

- ◆ 基礎利益：新型コロナウイルス対策関連費用の減少や保有契約高の積み上がりによる利益の増加があったものの、変額保険等の最低保証に係る責任準備金繰入額が増加したことなどにより、前年度比3.2%減少の1,322億円。



◆ 基礎利益の内訳

(億円)	FY2019	FY2020	FY2021
順ざや額	193	223	268
変額保険等の最低保証に係る責任準備金繰入額 (△) *1	△242	155	△ 224 ^{*3}
修正基礎利益 *2	1,011	987	1,278

*1 変額保険等の最低保証に係る責任準備金繰入額はマイナスで表記。

*2 修正基礎利益 = 基礎利益 - 順ざや額 - 変額保険等の最低保証に係る責任準備金繰入額

*3 ソニーライフ・ウィズ生命の吸収合併にともなう再保険契約の解約で生じた解約返戻金は、FY2021年始めにソニー生命が一括で積み立てた、ソニーライフ・ウィズ生命に係る最低保証に係る責任準備金と対応するため、同繰入額に含めている。

新型コロナウイルス感染症への対応について

◆ ご契約に関する主な特別取扱*

- ・ 保険料払込猶予期間の延長（新規受付分は2021年10月31日まで）
- ・ 保険金・給付金の請求手続の簡素化
- ・ 保険金・給付金のお支払い対象の拡大
- ・ 保険契約の更新手続の遡及対応
- ・ 保険契約の失効に関する特別措置

*詳細と最新のご案内は、当社ホームページ（<https://www.sonylife.co.jp/>）をご覧ください。

◆ 予防に対する取組

- ・ 出社率削減の取組
　　<主な取組> テレワークや時差出勤の活用、休暇取得の促進
　　　　　　　「リモートコンサルティングシステム」の導入、各種業務のペーパーレス化 など
- ・ 新型コロナワクチン接種にかかる特別休暇の導入
- ・ 各オフィス入口でのアルコール消毒の設置

◆ 保険金等の支払い状況（2022年3月31日まで累計）

	件数	金額
死亡保険金	442件	42.9億円
入院給付金	38,609件	28.7億円

※2022年5月24日現在

2021年度のトピックス

- ◆ 2021年4月：100%連結子会社の（旧）ソニーライフ・ウィズ生命を吸収合併
- ◆ 2021年4月：中期経営計画（2021年度～2023年度）の策定
- ◆ 2021年7月：NTTコム オンラインNPS®ベンチマーク調査2021
「生命保険部門」「生命保険部門 請求体験調査」の2部門で第1位を受賞



- ◆ 2021年10月：ライフプランナーによるソニー損保の火災保険取扱開始
- ◆ 2022年2月：リモートコンサルティングシステム（C-SAAF Remote）のリニューアル
- ◆ 2022年3月：「DX認定事業者」の認定取得

(注) NPS® (Net Promoter Score) は、ベイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、サトメトリックス・システムズの登録商標です。
NPS®とは、「友人や同僚に薦めたいか?」という質問への回答から算出される、顧客ロイヤルティを測る指標です。

注記

1. 本資料掲載情報は、特に記載のない限り、数値は表示単位未満は切捨て、比率や増減率は四捨五入で表示。
また、増減率が1,000%を超える場合や比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合は「-」表示。
2. 「ライフプランナー」はソニー生命の登録商標。
3. 2020年度より、外貨建その他有価証券の区分で保有する債券の換算差額に係る処理について会計方針を変更しています。
2019年度の数値については、比較可能性の観点から当該変更を遡及適用した場合の数値に修正しています。
4. 当社は、2021年4月1日付で当社の100%連結子会社であったソニーライフ・ウィズ生命保険株式会社（以下、ソニーライフ・ウィズ生命）を吸収合併いたしました。本資料の2021年度の単体業績は、吸収合併を反映した単体業績ですが、比較年度である2020年度の単体業績は、ソニーライフ・ウィズ生命の単体業績を含めておりません。
5. 当社の業績は、日本の会計基準に準拠して作成しており、その会計基準は、当社の親会社であるソニーグループ株式会社が開示する連結業績の準拠する国際財務報告基準とは異なります。
6. 本資料は、公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

免責事項

この資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しや試算です。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの見通しまたは試算に関する情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の仮定、決定ならびに判断に基づいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、当社が将来の見通しや試算を見直して改訂するとは限りません。当社はそのような義務を負いません。また、この資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもありません。

